

サイクリングクラブ第50代活動方針

【基調方針】

第50代では、サイクリングクラブの活動を通して、協調性を養い集団生活の大切さを学び、大学生活をより充実したものとすることを目指す。

【会活動】

充実したサークル活動を行う為に、活動は原則全員参加とする。したがって、無断での遅刻・早退・欠席は認めない。但し、冠婚葬祭・学業・病気・家庭の事情・交通機関の遅れの場合はこれを認めることとする。また、遅刻・早退・欠席の場合は速やかに執行に連絡し、その理由を述べるものとする。

サークル活動に関する連絡事項の伝達は主にメールを活用し応答がない場合等は直接、活動後に伝達するなどして徹底を図る。

旅行部門では、トレーニング、講習会、合宿を主な活動としていく。またトレーニングの延長として例年通り大会を行う。

競技部門では、都連のレースを中心として、その他のホビーレースにも積極的に参加する。

これらの会活動を通して、会員間の親睦を深めサイクリングを行う上での体力・筋力をつけることを目標とする。

部室の使用は、学校の規則である館内禁煙や部室・ラウンジの清掃を徹底する。清掃徹底のため、清掃当番を決め、活動後には毎回清掃を行い快適な環境を維持する。

【ミーティング】

ミーティングは原則として、活動内に部室または教室にて行う。今後の活動予定の確認、その他連絡事項を随時会員に知らせ、それらに関する質問も受け付ける場とすることで、より正確な伝達をできる場を設ける。また、愛好会行事・レースの応援への参加の呼びかけやその感想・報告を述べる場としても活用していく。編集物の配布・部費等の回収もこの場において実施していく。

=旅行部門=

【合宿】

・納会合宿

4年生にとって最後の合宿。1年生は初めてのリーダーを、2年生は執行、責任者を務めることによって、代替わりの意味を含む。

・初めラン

サークルの雰囲気やサイクリングの楽しさ、集団走行におけるルールを、実際に新1年生に自転車に乗ってもらうことで理解してもらうための、日帰りサイクリング行事。コースは新2年生が設定。

・新歓合宿

1年生にとって初めての合宿であり、各学年と交流を深めながら、自転車旅行を楽しんでもらうための2泊3日の合宿。

・強化合宿

長期合宿に向けての体力作りを目的とした2泊3日の合宿。班員と協力して峠を登ることで自己の体力を理解するとともに、共通の達成感を味わってもらう意味を含む。

・プレキャンプ

夏合宿に入る前の予行演習として、主に1年生にキャンプ生活を体験してもらうことを目的とした1泊2日の合宿。

・長期合宿

春と夏の年2回、各班自由にコースや日程を計画し行う、旅行部門におけるメインの合宿。各地の人々との出会いやふれあいを通し、また、班員と協力し様々な経験をすることで、自己を成長させるとともに、沢山の思い出を作ってもらうことを目的とする。

・50周年合宿

例年では4年生をリーダーとする日帰り行事の秋ランを行っていたが、今年度では50周年を記念し、OBOGの方々との1泊2日の合宿を予定している。

詳細は現在話し合い中の為、時期をもって発表する。

※納会合宿、初めラン、新歓合宿、強化合宿、50周年合宿は原則として競技部門も参加する。

【トレーニング】

会員が安全かつ楽しいトレーニングを行うことを考え、トレーニングを通して会員同士の親睦を深め、長期合宿に向けての体力の維持・向上を図ることを目的とする。

原則として、トレーニングは毎週水曜日・土曜日に行う。

大会は年に3度行う予定である。

【備品】

備品に関し、管理、整備、貸し出し、新規購入又は廃棄の検討の全般を行う。

○車種

サイクリング活動に適した機能を有するものとする。購入予定者は執行部と協議し車種を決定する。

○安全面

走行時の安全を確保するため、行事前に安全面の注意を呼び掛ける。またライト・セーフティランプの装着、ヘルメットの着用の義務付け、走行前にはそれらが適切に動作するかどうかチェックを徹底する。走行中には、事故や怪我を未然に防ぐために、サイン・声だしをする。

【講習会】

サイクリングクラブの活動をする上での知識を会員各自に身につけてもらえるよう講習会を開く。講習会は以下の通りである。また各講習会は執行内で協力し合う。

《輪行講習・ブレーキ講習・パンク講習・走行講習・安全講習・消防署講習・キャンプ講習・愛好会講習・会計講習・保険講習・競技講習》

=競技部門=

【合宿】

長期休暇中に競技部門会員で日時、場所を定め行う。

【レース】

日本自転車競技連盟主催レース

- ・全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ
- ・ジャパンカップ

東京都自転車競技連盟主催レース

- ・東京都社会人対抗ロードレース大会
- ・東京都クラブ対抗ロードレース
- ・秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会
- ・高石杯関東地域自転車道路競走大会

その他レース

- ・もてぎ7時間エンデューロ
- ・富士山ヒルクライム
- ・日産スタジアムサイクルパークフェスティバル
- ・日本サイクルレーシングクラブ協会（JCRC）ロードレースシリーズ

【トレーニング】

毎週水曜日と土曜日を練習日とし、ほか休日なども積極的に努めていく。学校周辺、神奈川県西湘、三浦半島、丹沢山地などで練習を行い、雨天時はローラー台での室内練習及び筋トレ等を行う。練習時は必ずヘルメットを装着し、日没後の走行はライト・セーフティーを必ず装備する。また、サイン・声だし・安全確認を徹底することで事故を未然に防いでいく。

【備品】

現在ある備品に関しては把握し、今後も使用できるものは整備して使用する。新たに購入する場合、レースを見据えて必要なもの、自転車整備や練習を向上、充実させるにあたり必要だと思われるものを購入していく。新入生の車種は、日頃の練習及びレースに適したものとする。

【愛好会】

サイクリングクラブは愛好会という大学側から認められた団体に属している。

これにより同サークルは大学側から援助金という資金面、部室などの使用許可という施設等において援助を受けている。また、愛好会行事を通して他サークルと交流できる。

これらのことを会員全員が認識し、理解を深めてもらうために、愛好会講習を行い、行事への積極的な参加を勧めていく。

なおリーダーズキャンプ、リーダーズミーティング、メンバーズキャンプにおいて対象者は原則として全員参加とする。

【会計】

入会金は2000円、部費は月500円。

部費の回収に関しては、1・2・3年生は2ヵ月に1回収する。また、学校がない月はその前の月にまとめて払ってもらおう。4年生は公式行事の時に11～3月分と4～10月分を年2回に分けてまとめて払うようにしてもらおう。部費以外の行事等にかかるお金は集金袋を用いて回収する。また、回収日を活動予定表に載せ、連絡網を活用するなどして回収の徹底を図るが、やむを得ず滞納したまま卒業する場合は、サイクリングクラブに対して誓約書を提出してもらおう。

愛好会関連費に関しては、行事への積極的な参加を求める為に、合同キャンプは自己負担を4000円、メンバーズキャンプ・ラストキャンプは自己負担を7000円、リーダーズキャンプは自己負担を9000円とする。

競技部門に関しては、東京都自転車競技連盟登録費と日本学生自転車競技連盟登録費とレースエントリー代は全額負担とする。レースの遠征費(レンタカー代・ガソリン代・有料道路代・宿泊代)は、宿泊するレース2つのうち1つは全額援助、1つは半額援助とし、その他のレースは全額負担とする。レースへの旅行部門の応援費は全額負担とする。

【保険】

サークル活動に安心して専念できるよう、万一の事故や怪我に備えて、会員全員にスポーツ安全保険と三井住友海上自転車総合保険の加入を義務付ける。

【編集】

サイクに関する編集物を後々見返した際に当時を思い出させるようなノート型に作成する。印刷の関係上、原稿は両面に書かずに分けて、B5 の用紙に黒か青のペンで書いてもらう。

パソコンのメールでの提出も可能で、送信先は 09sg1059@sg.meijigakuin.ac.jp である。メールでの提出期限は提出の 3 日前で、提出者は編集者に連絡すること。全員に提出期限を守ってもらえるよう徹底する。

【公式行事】

今期は以下の行事を公式行事として全会員参加とする。

<顔見せコンパ・新歓コンパ・初めラン・50 周年式典・前期打ち上げコンパ・50 周年合宿・白金祭打ち上げコンパ・納会合宿・後期打ち上げコンパ・追い出しコンパ>

遅刻・早退・欠席については、連絡の徹底を求める。その際、コンパについては渉内に、それ以外は旅主務に連絡する。

第 50 代執行部